発行:市川市
編集:企画部広報広聴課
〒272-8501 市川市八幡1-1-1
TEL 047-334-1111
FAX 047-336-2300
市公式Webサイト
http://www.city.ichikawa.lg.jp/

広報いちかわ

2013年(平成25年) 1月1日 NO.1463
毎月第1・第3土曜日発行

市川市住民基本台帳人口(11月30日現在) ▶ 469,195人
男 238,968人 女 230,227人 223,096世帯

今週号の紙面から

●年始の市の業務…… 2面
●消防出初式…… 3面
●発足60周年を迎えた市川市消防音楽隊 彼らにしかできないことがある… 4-5面
●子育て情報ひろば in アイ・リンクタウン…6面
●新春すがの寄席「笑う門には福来る」…7面
●新年につなげる笑顔のリレー…8面

大きな願いを演奏に込める

音楽に恋した火消したち

市川市消防音楽隊が1952年(昭和27年)に発足し60周年を迎えました。消防官である隊員は、これまでも、そしてこれからも、火災予防や救急車の適正利用の願いを奏で続けます。

年頭挨拶

行財政改革のさらなる推進

勇気を持って着実に前へ

市長 大久保 博(おおくぼ ひろし)

明けましておめでとうございます。市民のみなさまにおかれましては、新たな気持ちで新春をお迎えのこととと存じます。また、平素より市政の推進にご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

近年、日本国内では、少子高齢社会の本格化、デフレによる経済の低迷など、私たちを取り巻く社会環境に大きな変化が生じています。10年後の平成35年には、日本の総人口が現在より約500万人減少し、15歳から64歳までの生産年齢人口の割合も4%減少する一方、高齢化率が5.6%上昇するなど、大きな変化が予測されています。

これからの本市には、このような社会環境の変化の中を力強く前へ進むことができる持続可能な活力が求められています。今後実施される「行財政改革」は、まさにこの活力を効率的、かつ効果的に蓄えるものであります。限られた行政資源で市民サービスを推進するための重点化と優先順位の明確化を図りつつ、歳入に見合った歳出、無駄を排除した質の高い行政運営を行ってまいります。「行財政改革」の推進は、痛みを伴うことが想定され、市民のみなさまにも変化を受け入れていただくこととなるでしょう。しかしながら、今、改革に乗り出さなければ、遠くない将来にさらに大きな痛みが訪れることを肝に銘じ、勇気を持って推進してまいります。

改革を進める一方で、本市の魅力と活力をこれからさらに高め、市民のみなさまが充実した生活を過ごせるようにしてまいります。

その一つとして、安心・安全、環境への取り組み、地域コミュニティーの向上などに関わる住宅環境への支援を充実させることで、都市としての魅力を高め、併せて地域経済の活性化にもつなげたいと考えています。また、昨年度から始まりました「ガーデニング・シティ いちかわ」の事業においても、環境対策や地域経済の活性化、シティセールスなど、様々な価値を付加することで事業効果をさらに高めてまいります。

平成25年の幕開けを迎え、思いを新たに市政の運営を担っていく所存です。

市民のみなさまには、今後も一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げるとともに、本年が幸多き年となりますことをお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。